

会 議 録

会議の名称	平成27年度 第4回 和泉市総合教育会議
開催日時	平成27年11月12日(木) 午後2時30分から午後3時5分まで
開催場所	和泉市立人権文化センター 4階 第1研修室
出席者	<p>[構成員] 辻市長、藤原教育長、高橋教育委員、本間教育委員、槇野教育委員、松尾教育委員、藤原教育委員</p> <p>[事務局] 石川副市長、宮崎副市長 (教育委員会事務局)</p> <p>竹中教育次長、逢野こども部長、永山生涯学習部長、小川教育指導監、上野学校教育部理事、北野教育総務室長、東教育総務室総括主幹、山本教育総務室総括主幹 (市長公室)</p> <p>黒木市長公室理事、小泉政策企画室長、佐々木企画経営担当課長、門林企画経営担当総括主査、蓮池企画経営担当主査、樋川企画経営担当主事</p>
会議の議題	<p>1 (仮称) 和泉市教育大綱(案) パブリックコメント結果について</p> <p>2 (仮称) 和泉市教育大綱(案) の確定について</p> <p>3 その他</p>
会議の要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ (仮称) 和泉市教育大綱(案) パブリックコメント結果について、市長と教育委員会 で意見交換を行った。 ・ 検討した内容で和泉市教育大綱を確定することとした。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他 ()
その他の必要事項	傍聴者 なし

1 はじめに

○辻市長から会議開催にあたってのあいさつ

- ・本日は、今まで検討してきた（仮称）和泉市教育大綱案について、パブリックコメントの結果を踏まえて検討し、確定してまいりたい。
- ・内容について、事務局より説明願う。

2 （仮称）和泉市教育大綱（案）パブリックコメント結果について

（1）事務局説明

資料1について事務局から説明

（2）質疑応答

■（仮称）和泉市教育大綱案パブリックコメント結果について

①全体構成や策定過程、視点の項目について

特に意見なし。

②基本理念における「人材」、「輩出」の文言等について

槇野委員

- 「人材」や「輩出」等に対する提案や意見について、個別に市の考え方を示しているが、まとめることはできないのか。パブリックコメントに対してどのように回答するのか。

事務局

- 今回のパブリックコメントの募集要領の中では、同種の意見に対しては一括して回答する旨、謳っています。このため、ホームページ等で最終的に市の考え方を公開する際には、同種の意見で一括して回答できるものについては、まとめて回答します。

③就学前教育の基本方向について

事務局

- 「幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流・連携を図り、相互の教育内容の理解を深めます。」となっているところ、「保育・教育内容の理解を相互に深めます。」に修正しようとするものです。

槇野委員

- この文言は、「小学校に就学するまでの教育」と「小学校での教育」を相互に理解を深めるということが元々の文意であると思う。しかし、小学校では保育をしていないにも関わらず、「保育」を追加した場合、教育内容について相互に理解を深めるでは意味が通るが、保育に関して相互に理解を深めるというのは文脈として、また意味としておかしいのではないか。

事務局

- 「相互の保育・教育内容」ですと、ご指摘のとおり、小学校に保育というものがあるのか、ないのかという議論になります。「保育・教育内容の理解を相互に深めます。」とすることによって、「相互」という語句を「深める」に意味が掛かるよう修正しています。

松尾委員

- 幼稚園・保育所・認定こども園での「保育」は、「乳幼児を保護して育てる」という意味合いが強く、一方、「教育」は「教え、育てる」という意味であり、意味が違うものになるので、「保育」という言葉を追加しておいたほうが良い。

藤原委員

- 「相互の教育内容」を「相互に保育・教育内容」に修正すれば、意味は通じるのではないかと。

事務局

- ご意見を踏まえまして、「相互に保育・教育内容」に修正いたします。

④学校教育の基本方向について

本間委員

- 12の項目について、(仮称)和泉市教育大綱案4ページに『『いずみあいさつ運動』をはじめとして』との記載をしているので、あいさつ運動を施策として行うようなイメージを持たれてしまう。
- 例えば、『『いずみあいさつ運動』にみられるような、子どもたちの育成を見守る地域の人々との交流』のような表現にすれば、少しは和らぐのではないかと。

事務局

- いずみあいさつ運動に対する指摘がパブリックコメントの主旨であるので、あいさつ運動について言及している部分に対してはその考え方を示し、「いずみあいさつ運動にみられるような」という表現の変更については、教育内容や方針と誤解を生じないように修正する旨を加えて、回答の変更をしたいと思います。(1, 2の項目である全体構成についても同様の回答とする。)

⑤生涯学習の基本方向について

特に意見なし。

辻市長

- 他、ご意見はあるかと。
- 無いようなので、パブリックコメントの回答については、私のほうで最終的な調整をさせていただく。

3 (仮称)和泉市教育大綱(案)の確定について

辻市長

- パブリックコメントの結果を踏まえて、検討した結果として、
 - ・就学前教育の基本方向(2)において、「相互に保育・教育内容の理解を深めます」に修正
 - ・いずみあいさつ運動の部分で「いずみあいさつ運動にみられるような」に表現を変更これらを反映し、和泉市教育大綱とさせていただきたいと考える。他にご意見等はあるかと。

(意見無し)

- これまで4回にわたり委員の皆様と検討をさせていただき、非常に内容の濃い教育大綱を策定できた。
- しかし、教育大綱を策定するだけでは絵に描いた餅になってしまうため、大綱の理念にある「社会に貢献できる子どもたちの輩出」をめざして、教育委員会と連携し、教育行政の推進に取り組んで参りたい。

引き続き皆さまのご尽力を賜りたい。

事務局

- 本日は、和泉市教育大綱案パブリックコメントの内容についてご意見をいただき、また、教育大綱案を確定いただきありがとうございました。
- 本日確定した和泉市教育大綱については、市議会第4回定例会へ報告するとともに、市広報等により市民や学校、幼稚園等に周知してまいります。

辻市長

- 以上をもって第4回和泉市総合教育会議を終了する。

< 終 了 >